



YUMESHIN

*Go to the Future*

[証券コード:2362]

株式会社 夢真ホールディングス

## 第35期 中間株主通信

2012年10月1日～2013年3月31日



株主さま

透明性のある企業経営を  
実践し、健全な成長・安定  
した還元に努めます。

社会

新卒・若手の人材を  
積極的に採用し雇用の  
創造に努めます。

# 人と人とのめぐり合いで みんなの夢を真にする会社

当社の社名「夢真」には、読んで字のごとく、  
「夢を真（まこと）にする」という意味が込められています。

人と人とは他人に思えても必ずどこかで繋がっています。

人と人がめぐり合うことで道は開け、可能性は無限に広がっていきます。

当社は、株主さま、お客さま、従業員、  
そして夢真グループにかかわるすべての方々の可能性を追求し、  
その夢を真にすることをミッションと考えています。

従業員

独自の研修プログラム  
で、ひとりひとりの成長  
を援助します。

お客さま

必要な時に・必要な人数・  
必要な場所に・必要なスキル  
を持った人材を提供します。

## 夢真ホールディングスグループの事業領域



YUMEP  
Technology  
**(株)夢テクノロジー**  
エンジニア派遣事業



**株式会社夢真ホールディングス**  
建築技術者派遣事業



**(株)我喜大笑**  
子育て支援事業



**(株)夢真メディカルサポート**  
医療介護支援事業

**(株)ユニテックソフト**  
エンジニア派遣事業



## 次代の建設業界を担う技術者の採用に全力で取り組み、 社会とともに発展してまいります

代表取締役会長兼社長

佐藤 真吾



**Q** 2013年9月期第2四半期の業績と通期の見通しについてお聞かせください。

**A** 今期の業績につきましては、売上、利益ともほぼ計画通りに進捗しています。

2013年9月期第2四半期の業績は、大手建設会社の旺盛な需要によって、当社建築技術者の派遣稼働率が引き続き実質フル稼働の状況となり、売上高6,132百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益772百万円（同29.9%増）、経常利益956百万円（同49.7%増）、四半期純利益583百万円（同48.3%増）となりました。

通期の業績についても、好調な事業環境が継続するものと想定され、計画は達成できるものと考えています。

**Q** 夢真ホールディングスの特徴、強みについてお聞かせください。

**A** 建設業界に特化して人材ビジネスを展開する唯一の上場企業であることが、当社の特徴であり、強

みでもあります。業界における空前の人材需給ギャップ解消に寄与することが、当社の戦略であり、業績の伸長と成長にそのままつながっています。

建設業は受注時期が不定期で、建築現場が次々に変わり、短納期な上に、人手が必要です。そのため、人材派遣に適している業界である一方で、事業内容自体に専門的要素が多く、適正な人材の提供が難しいので、大手の総合人材派遣会社でも、建設業界にはほとんど注力していません。

こうした中で、毎年、新卒者を中心に若手を大量に採用していることは、当社の特徴であり、強みだと思います。私は過去40年以上も建築現場を見てきました。日本の建設業界は、高度成長期には正社員を大量に採用しながら発展してきました。しかし、1990年代初めのバブル経済崩壊後は、公共事業の減少や設備投資の抑制などにより新規採用が控えられてきました。

建設就業者数は、1997年の685万人をピークに減り続け、現在は500万人を割り込んでいます。そして現在、建設業界は、団塊世代の定年退職期を迎え、3人に1人



が55歳以上という深刻な高齢化と、慢性的な若手技術者不足という問題を抱えています。

建設技術者についても、やはり1997年の41万人強から11万人減少し、30万人弱となっています。就業者の年齢構成から、今後も年に1万人ほどが減り続けることが見込まれ、年間の入職者数を差し引いても毎年7,000～8,000人不足することが想定されます。

一方、建設投資額では、リーマンショック後の2010年を底に緩やかな回復基調が続いています。加えて、当社が集中的に派遣している首都圏では継続的な人口流入の超過が見込まれるほか、築40年以上の建築物増加に伴う建替え需要の増大や、耐震補強・バリアフリー化に対する需要など建設需要の拡大が見込まれています。

このように日本の建設業界は今、歴史に根ざした構造的要因によって空前の人手不足の状態にあります。当社は、今後も積極的な採用戦略を進め、こうした人材の需給ギャップ解消に寄与することで、さらなる成長を図っていきます。

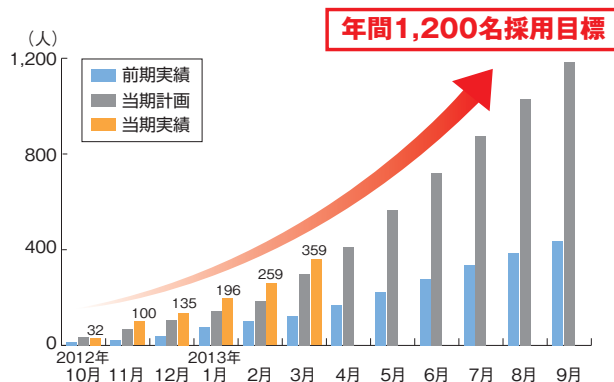
**Q** 昨年10月に発表された中期経営計画の手のごたえはいかがですか。

**A** 経営戦略の柱である採用計画を上方修正し、計画達成の見込みが高まったと考えています。

新人建築技術者につきまして、今年3月に発表しましたように、中期経営計画における5年連続で毎年800人以上採用という計画を修正し、毎年1,200人以上採用としました。新卒者を中心に毎年人員を大量採用する人材戦略は、首都圏に特化するエリア戦略とともに、当社の経営戦略の柱です。

したがって、当初の採用計画を大幅に拡大したことで、売上をはじめとする業績のさらなる伸びが見込まれるため、中期経営計画の計画値を上方修正しました。また、1年目は新人の増加でも、2年目以降はその新人も経験者として生産性が向上するため、採用人員の拡大が売上だけでなく利益率の向上にも貢献していくことを見込んでいます。

▼ 2013年9月期の月次採用実績と目標



**Q** 人材の採用ではどんな取り組みを進めていますか。

**A** 全国の主要都市に「夢探索カフェ」を展開し、若い技術者の採用に力を注いでいます。

当社は2012年1月、東京・渋谷にオープンしたのを



皮切りに、採用に特化した常設のサテライトオフィス「夢探索カフェ」を全国の主要都市に配置し、採用活動を行っています。その後は9月に「夢探索カフェ」を大阪、11月に横浜、12月に仙台、2013年2月に福岡、4月には名古屋にオープンしました。今回、中期経営計画における採用計画を上方修正することができたのも、こうした年間を通じての取り組みが功を奏してきたからだと思います。

「夢探索カフェ」の展開とともに、当社は従来の建築系をはじめ理工系に限定していた建築技術者の採用を、文科系学科の卒業生にも拡大しました。当初、一部には不安視する見方もありましたが、業務に対する熱意やのみ込みの速さから、数か月後にはお客様の現場に欠かせない存在として認知いただき、そうした不安は払拭することができました。

**Q** 夢真ホールディングスの中長期的なミッションをお聞かせください。

**A** 次代の建設業界を担う技術者を育てることが当社の使命だと考えています。

先に述べましたように、日本の建設業界は今、高度成長時代に入職した団塊世代の大量退職をはじめとする歴史的・構造的要因によって、人材において史上空前の需給ギャップを迎えています。こうした状況において、当社は、文科系学科卒業生も含め若い人たちを大量に採用することで、少しでもこの需給ギャップを解消していきたいと考えています。

私は、彼らが初めは考えてもいなかった建築という仕事に関心を抱き、実際に働くようになることだけでも、半ばは社会的使命を果たしたと考えています。なぜなら、彼らがたとえ当社を退職した後でも建設業界に残ることになり、将来の日本の建設業に貢献してくれることを期待しているからです。

**Q** 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 業績目標の達成に努めるとともに、増配を目指しています。

今回、おかげ様で株主様の数が、2012年9月期末に比べ倍増しています。株主様からのご期待に応えるためにも、人材の採用計画をはじめとする経営戦略を着実に進めていくことで、中期経営計画の業績目標の達成に努め、業績に連動して毎期の増配を目指してまいります。配当性向については、30%以上を目指していくとともに、自己株式の取得については、機動的に実施してまいります。

また、IR活動については、より多くの投資家の皆様から当社に関心を持っていただけますよう、個人投資家説明会の開催やIRイベントへの参加など積極的な情報発信に注力するとともに、株主の皆様には末永く当社株式をご保有いただけますよう、株式価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

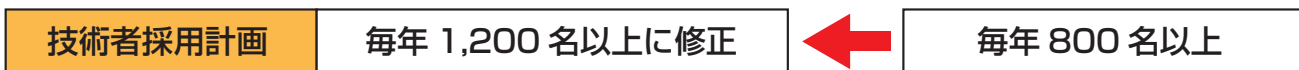




## 中期経営計画の目標数値を上方修正

### 採用計画を毎年1,200名以上に修正、新人技術者採用を加速

2012年10月に発表しました中期経営計画では、2013年9月期から2017年9月期までの5年間で、毎年800名以上の新人建築技術者を採用していく方針としましたが、ますます拡大する建設業界の人材需給ギャップへの対応から採用拠点の全国展開などの取り組みを重ね、大量採用を可能とする体制の構築が進んだことから、採用人数を年間1,200名以上に上方修正しました。



### 最終年度目標 売上高422億円・経常利益129億円

建築技術者派遣事業において、派遣する技術者の人数が最大の成長ドライバーです。採用計画を修正し、派遣可能な技術者数が上積みされたこととともない、中期経営計画を修正し、計画の進捗を一層強化してまいります。また、利益の拡大によって積みあがるキャッシュについては、毎期の増配によって株主様への還元を拡大することで資本効率の最適化を図り、自己資本利益率（ROE）40%以上の維持を目指してまいります。なお、当中期経営計画には、「東北復興需要の本格化にともなう上積み分」は含んでいません。東北地方を中心とした復興需要が顕在化してきた際は、再度計画を見直す必要が生じます。

2013年4月発表の新目標数値

(単位:百万円)

	2013/9期	2014/9期	2015/9期	2016/9期	2017/9期
売上高	13,500	21,200	28,900	36,100	42,200
経常利益	2,200	4,850	7,800	10,550	12,900
経常利益率	16.3%	22.9%	27.0%	29.2%	30.6%
当期純利益	1,300	2,700	4,300	5,800	7,100

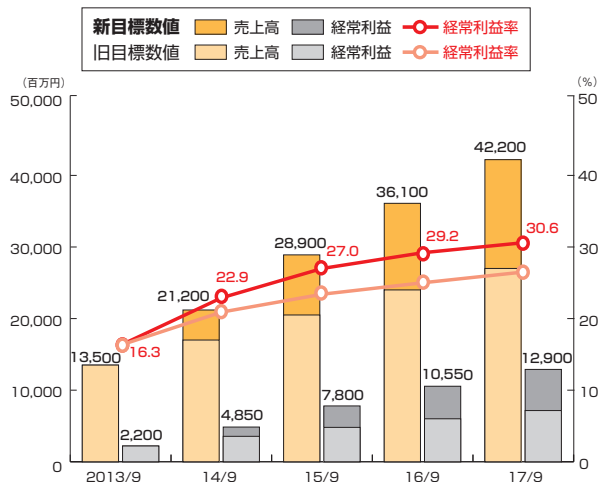


参考: 修正前の目標数値 (2012年10月発表)

(単位:百万円)

	2013/9期	2014/9期	2015/9期	2016/9期	2017/9期
売上高	13,500	17,000	20,500	24,000	27,000
経常利益	2,200	3,550	4,800	6,000	7,150
経常利益率	16.3%	20.9%	23.4%	25.0%	26.5%
当期純利益	1,300	2,050	2,750	3,400	4,050

### ▼ 中期経営計画目標数値の推移





## 夢真は、未来の技術者を徹底採用していきます

### ■ 新人技術者採用のための戦略

新人採用強化のために継続的な学校訪問、就職情報サイトの活用や就職活動イベントへの参加、ラジオ等媒体を使つての情報発信、独自のパンフレット作成などに加えて、自社ホームページ内の採用ページを強化し、求職者との公式コミュニティツールの充実を図っています。

### ■ 充実の公式コミュニティツール



採用サイト  
<http://www.recruit-yumeshin.com/>



公式Facebookページ  
<https://www.facebook.com/yumeshin>



IR・広報担当twitter  
[https://twitter.com/Y\\_yumenoko](https://twitter.com/Y_yumenoko)



夢人BLOG  
<http://www.yumeshin.co.jp/blog/>

### ■ 漫画による独自の採用パンフレット



### 採用特化型施設「夢探索カフェ」全国展開

さらに、当社の採用活動の特徴的な設備として、採用特化型施設「夢探索カフェ」を2012年1月東京渋谷でオープンさせたのを皮切りに、2013年4月には名古屋をオープンさせ、全国で7か所の採用施設を構築し、毎日の採用活動を全国規模で展開しています。

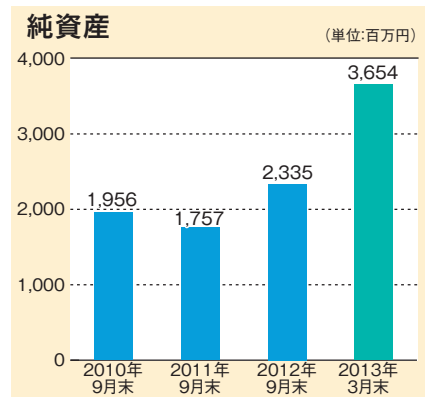
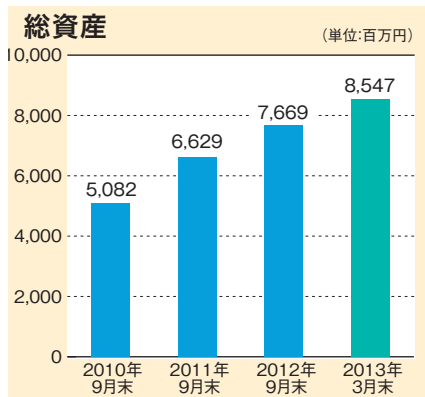
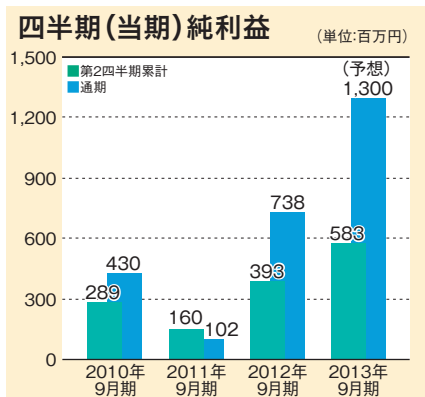
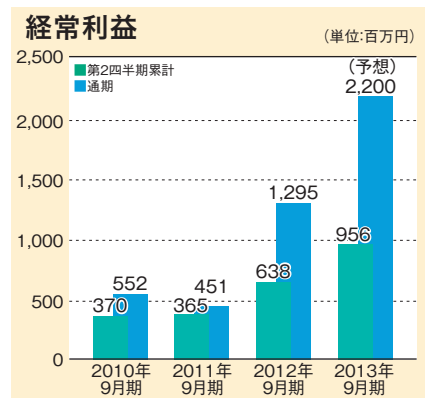
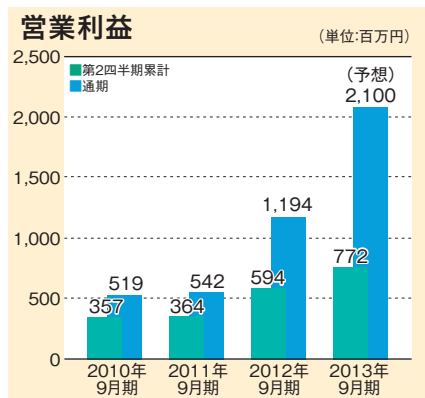
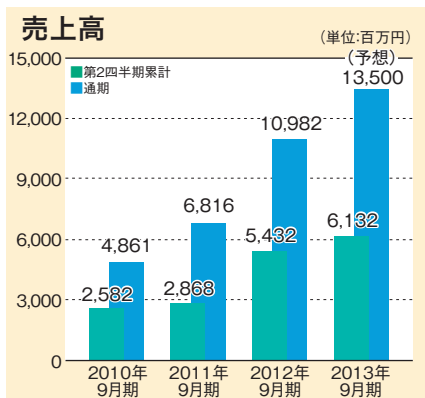


### ■ 新人建築技術者の研修制度について

当社の新人技術者への教育はOJTを基本としていますが、新人としての業務に必要な知識・技術を入社時研修、フォロー研修で実践的に習得させ、現場で活躍できる人材を育成しています。実際の機器を使用した測量実習や、安全管理研修、建築用語、基礎知識、社会人教育までを徹底的に身につけ、お客様のご期待に応えるべく即戦力となる人材を育てています。



徹底した新人教育研修



## 売上高

中核事業である建築技術者派遣事業において、派遣需要の旺盛な推移を背景とした積極的な採用活動の結果、当第2四半期累計の入社員数は359人、在籍技術者数は1,290人となり、その結果等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比12.9%増加しました。

## 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて877百万円増加し、8,547百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加512百万円、投資有価証券の増加483百万円等によるものです。



# 連結財務諸表 (要旨)



## 連結貸借対照表

(単位:千円)

区 分	当第2四半期 2013年3月31日現在	前 期 2012年9月30日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	<b>5,099,448</b>	<b>4,683,600</b>
固定資産	<b>3,448,134</b>	<b>2,986,230</b>
有形固定資産	1,412,657	1,412,178
無形固定資産	619,873	666,246
投資その他の資産	1,415,602	907,805
資産合計	<b>8,547,583</b>	<b>7,669,831</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	<b>2,605,102</b>	<b>3,402,051</b>
固定負債	<b>2,288,341</b>	<b>1,932,094</b>
負債合計	<b>4,893,444</b>	<b>5,334,146</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	<b>3,166,072</b>	<b>2,144,823</b>
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	1,229,195	867,545
利益剰余金	2,699,702	2,262,103
自己株式	△ 1,567,972	△ 1,789,972
その他の包括利益累計額	<b>200,415</b>	<b>△ 46,302</b>
その他有価証券評価差額金	200,415	△ 46,302
新株予約権	<b>11,861</b>	<b>10,511</b>
少数株主持分	<b>275,789</b>	<b>226,652</b>
純資産合計	<b>3,654,138</b>	<b>2,335,685</b>
負債純資産合計	<b>8,547,583</b>	<b>7,669,831</b>

## 連結損益計算書

(単位:千円)

区 分	当第2四半期累計 自 2012年10月 1日 至 2013年 3月31日	前第2四半期累計 自 2011年10月 1日 至 2012年 3月31日
売上高	<b>6,132,678</b>	<b>5,432,265</b>
売上原価	4,288,011	3,870,990
売上総利益	<b>1,844,667</b>	<b>1,561,274</b>
販売費及び一般管理費	1,072,329	966,820
営業利益	<b>772,337</b>	<b>594,454</b>
営業外収益	236,441	137,818
営業外費用	52,431	93,530
経常利益	<b>956,347</b>	<b>638,742</b>
特別損失	29,338	3,309
税金等調整前四半期純利益	<b>927,009</b>	<b>635,433</b>
法人税、住民税及び事業税	332,270	216,296
法人税等調整額	△ 14,945	△ 1,273
少数株主利益	25,733	26,774
四半期純利益	<b>583,951</b>	<b>393,635</b>

### 配当予想の修正につきまして

当第2四半期までの業績およびキャッシュ・フローの動向を勘案し、当期末の配当金を2012年12月発表の予想より2.0円増配の、1株当たり5.0円と予定し、中間配当3.0円とあわせ、年間8.0円といたします。その結果、配当性向36.0%となる予定です。

### 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて440百万円減少し、4,893百万円となりました。これは主に借入金の減少449百万円、未払法人税等の減少101百万円等によるものです。

### 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて1,318百万円増加し、3,654百万円となりました。これは主に四半期純利益583百万円、剰余金の配当146百万円、自己株式の処分222百万円、自己株式処分差益361百万円、その他有価証券評価差額金の増加246百万円によるものです。



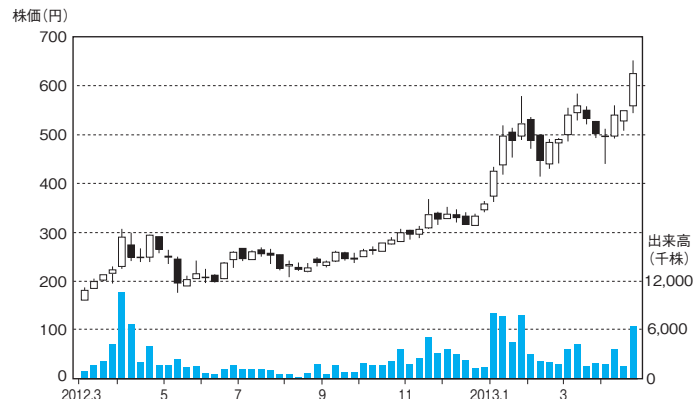
- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 74,573,440株
- 株主数 4,839名

## ■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
佐藤 眞吾	26,259	35.21
有限会社佐藤総合企画	9,344	12.52
佐藤 淑子	3,328	4.46
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	1,267	1.69
深井 英樹	1,153	1.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,055	1.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	774	1.03
大阪証券金融株式会社	709	0.95
楽天証券株式会社	665	0.89
THE BANK OF NEW YORK MELLON AS AGENT BNYM AS EA DUTCH PENSION OMNIBUS 140016	607	0.81

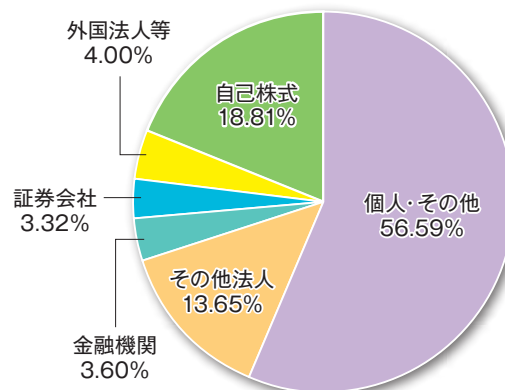
(注) 上記のほか、自己株式が 14,032 千株 (発行済株式総数の 18.81%) あります。

## ■ 株価の推移

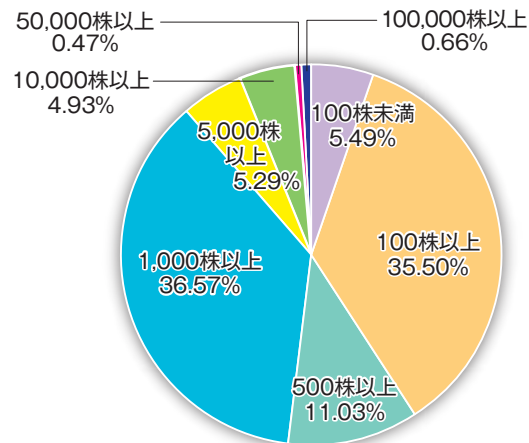


## ■ 株式分布状況

### 所有者別分布状況 (株式数比率)



### 所有株数別分布状況 (株主数比率)





社名	株式会社 夢真ホールディングス	上場証券取引所	大阪証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)
本社	東京都文京区大塚3-11-6 大塚三丁目ビル	証券コード	2362
設立	1980年1月	役員	
代表者	佐藤 真吾	代表取締役会長兼社長	佐藤 真吾
資本金	8億514万円	取締役	矢島 英一
従業員数	連：2,206名、単：1,381名	取締役	佐藤 大央
事業内容	建築技術者派遣事業 エンジニア派遣事業 子育て支援事業 医療介護支援事業	取締役	友松 成夫
		常勤監査役	高橋 宏文
		監査役	松本 幸夫
		監査役	六川 浩明

## IR伝言板

2012年10月以降に実施した投資家様向けIRイベントや説明会です。

### 2013年2月15～16日 東証IRフェスタ2013に参加

開催当日、当社ブースにはたくさんの方がお見えになり、様々なご意見やご質問を頂戴しました。また、同フェスタ内で実施した会社説明会にも多数の個人投資家の方々にご出席いただきました。



個人投資家の方でにぎわう当社ブースの様子

- 2012年11月5日 個人投資家向け会社説明会
- 2012年11月8日 ラジオNIKKEI「投資知識研究所」出演
- 2012年11月16日 2012年9月期 決算説明会
- 2012年11月17日 東京IPO IRセミナー 2012
- 2012年11月20日 ラジオNIKKEI「夕焼けマーケット」出演
- 2012年11月26日 中期経営計画発表会
- 2012年12月8日 ラジオNIKKEI・PRONEXUS「企業IR&個人投資家応援イベント」
- 2013年2月2日 東京IPO IRセミナー 2013 (大阪)
- 2013年2月23日 大和IRコンファレンス
- 2013年3月3日 大和IRコンファレンス (大阪)
- 2013年3月13日 東京IPO IRセミナー 2013
- 2013年3月23日 個人投資家向けIRセミナー (名古屋)
- 2013年4月30日 ラジオNIKKEI「ザ・マネー」出演

## ホームページのご紹介



当社ホームページの「株主・投資家情報」では、過去の決算短信などのIR情報を見ることができます。  
また、新卒・中途採用強化の一環として「採用ページ」の充実を常に図っています。

ホームページ  
<http://www.yumeshin.co.jp/>

### 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日
定時株主総会	毎年10月1日から3カ月以内に開催
基準日	定時株主総会：毎年9月30日 期末配当金：毎年9月30日 中間配当金：毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
証券コード	2362

#### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 (通話料無料)	フリーダイヤル 0120-782-031
公告の方法	当社のホームページに掲載します。(http://www.yumeshin.co.jp/)ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。

## 株式会社夢真ホールディングス

〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6大塚三丁目ビル



古紙配合率70%再生紙を使用しています

